

南但馬警察署管内交通事故発生状況（令和7年2月末）

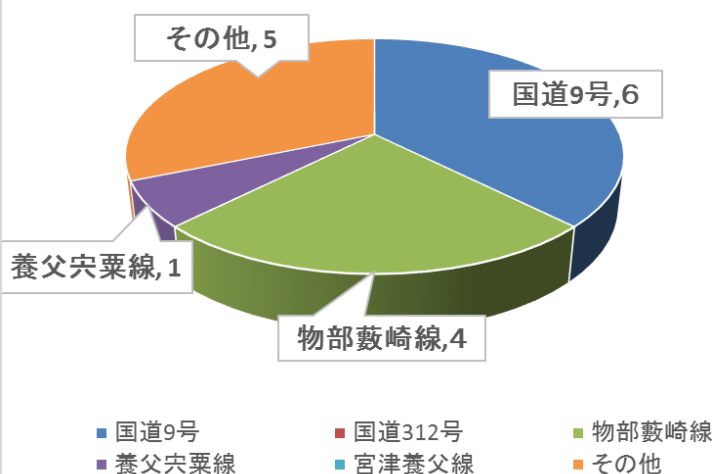
交通事故発生状況		令和7年2月中(前年対比)		令和7年2月末(前年対比)	
人身事故件数		13	+8	16	+5
死者数		1	0	1	-1
傷者数(重傷)		15(2)	+8(-1)	19(2)	+7(-1)
朝来市	人身事故	10	+6	12	+6
	死者数	0	-1	0	-1
	傷者数(重傷)	12	+9	14	+9
養父市	人身事故	3	+2	4	-1
	死者数	1	+1	1	0
	傷者数(重傷)	3	-1	5	-2
物件事故件数		205	+99	335	+109

時間/曜日	合計	月	火	水	木	金	土	日
合計	16	2	1	6	3	2	0	2
昼間小計	16	2	1	6	3	2	0	2
6～8	3	0	0	2	1	0	0	0
8～10	4	0	1	1	1	1	0	0
10～12	1	0	0	1	0	0	0	0
12～14	2	1	0	0	0	0	0	1
14～16	3	1	0	2	0	0	0	0
16～18	3	0	0	0	1	1	0	1
夜間小計	0	0	0	0	0	0	0	0
18～20	0	0	0	0	0	0	0	0
20～22	0	0	0	0	0	0	0	0
22～24	0	0	0	0	0	0	0	0
0～2	0	0	0	0	0	0	0	0
2～4	0	0	0	0	0	0	0	0
4～6	0	0	0	0	0	0	0	0

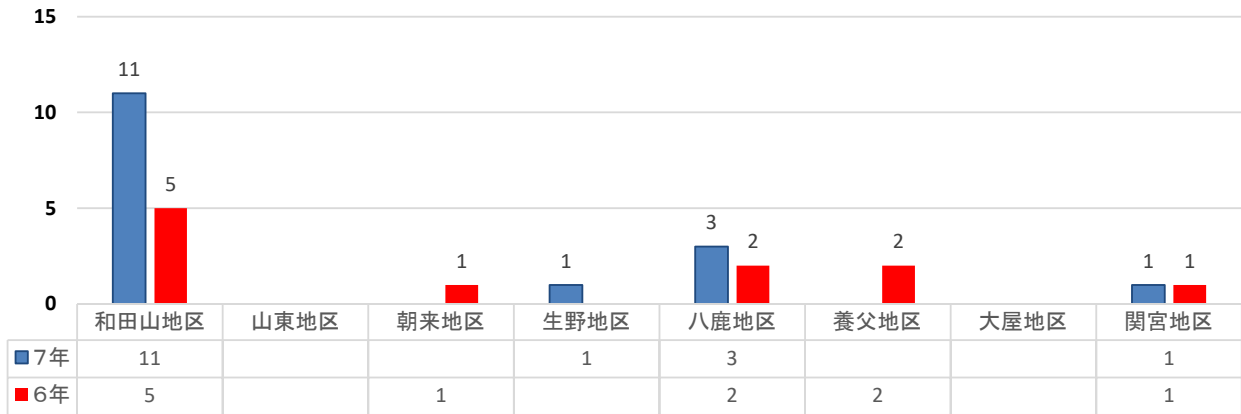
**薄暮時間帯(午後4時から
午後6時)に注意！**
**ドライバーの皆さんは
早めのライト点灯**
歩行者の方は反射材を活用



路線別人身事故発生状況



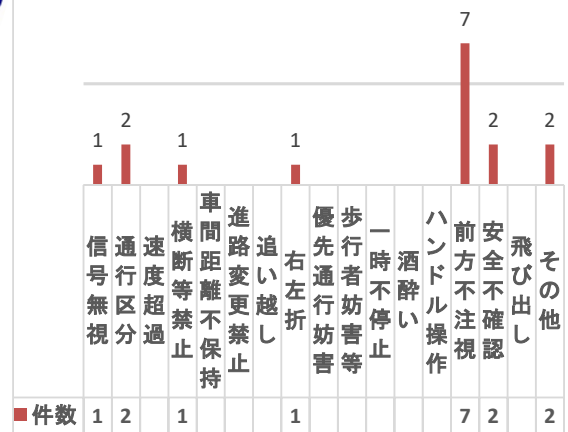
地区別交通事故発生状況



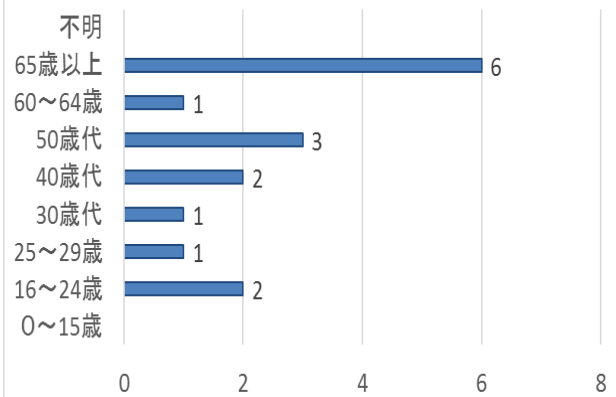
類型別人身交通事故



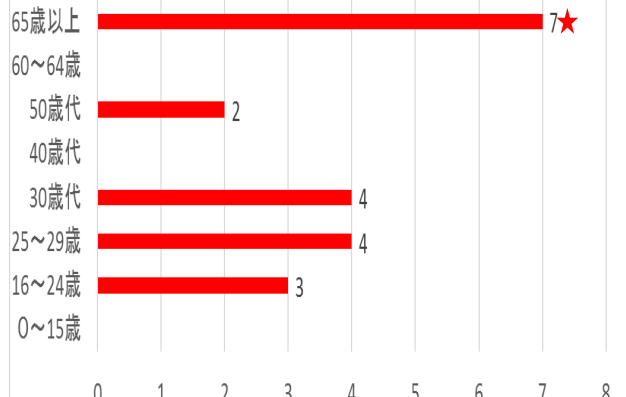
原因別人身事故発生状況



第1当事者年代別件数



年代別交通事故死傷者数



南但馬警察署管内の交通事故の特徴と対策等(令和7年2月末)

○ 特徴

- ・ 65歳以上の高齢ドライバーによる交通事故が多発しました。
- ・ 前方不注視による追突事故が多発しました。
- ・ 雪の影響による事故が多発しました。
- ・ 横断中の歩行者と車両が衝突する死亡事故が発生しました。

○ 原因

- ・ 追突事故の主な原因は、「脇見運転」、「判断の誤り」、「漫然運転」「車間距離不保持」です。
- ・ 雪道、凍結路における交通事故の原因は、冬用タイヤ、タイヤチェーンの未着装、古い冬用タイヤを装着したまま、急加速、急ブレーキ等が考えられます。

○ 対策

- ・ 十分な車間距離を確保しましょう。
- ・ 注意を偏らせず運転に集中しましょう。
- ・ 薄暮、夜間帯において歩行者・自転車の方は反射材の活用、明るい服の着用に努めましょう。
- ・ 道路を横断する際は、横断歩道を渡るなど交通ルールを守りましょう。
- ・ 雪道等を走行する際は、冬用タイヤ、タイヤチェーン等を正しく着装しましょう。